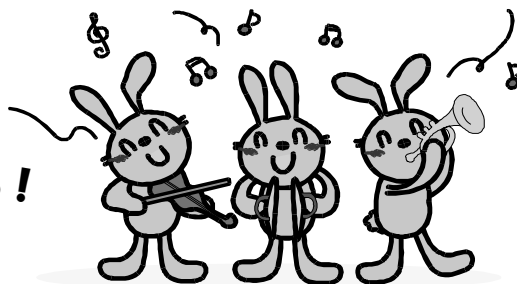


Let's 子育で!

子どもの「得意」を伸ばしてあげましょう!



新米ママが陥りがちな落とし穴は、ついほかの子どもと比べてしまうこと。集団生活には、いろいろな個性を持った子どもが集まってきます。早熟な子どもいれば、年齢より幼い子だっています。

大人の世界では「自分探し」「個性の時代」と言われ、自分らしさに価値を置くことが良しとされますね。ところが、自分の子どものことになる、必要以上に「違い」が気になってしまうもの。特に、ほかの子どもが出来ることを自分の子どもが出来ないとなると、新米ママはたちまち不安を感じるで

しょう。

子どもには、できるだけたくさんの可能性や選択肢を与えてあげたいと思うのが親心です。出来ないことや苦手なことを減らすため、子どもと一緒に努力するのは悪いことではありません。けれど、足りない部分を補うことばかりに気を取られていると、その子の「得意」を見逃してしまうかもしれません。

苦手なことを指摘されるより、得意なことを誉められたほうがうれしいのは、大人も子どもも同じこと。「成長過程の子どもだから、こうでなければいけない」なんてことはありません。字を覚えるのは苦手だけれど絵を描くのは得意。話すのは苦手だけれどユニークな発想ができる……それが、あなたの子どもの個性なのです。

子どもの「得意」を見つけたら、満面の笑顔で誉めてあげましょう。自信の積み重ねは、苦手なものを克服する力になることもあるのですから。

